



# 妙高市議会だより

～多様性がつながるまちづくり～



妙高高原ビジターセンター

## 【主な内容】

- 報告(議会報告会・意見交換会)…………… 2ページ
- 議会閉会中に各委員会で調査しました…………… 3ページ
- 常任委員会で議案をじっくり審査…………… 4～5ページ
- ここが聞きたい！一般質問…………… 6～13ページ
- 11月臨時会、12月定例会で審議された議案と審議結果…………… 14ページ
- 教えて？妙高市議会議員のこと…………… 15ページ
- 報告(議場deコンサート)、編集後記…………… 16ページ

# 議会報告会・意見交換会を開催しました！

11月14日、妙高高原メッセで議会報告会・意見交換会を開催しました。最初に、9月定例会の審議結果について報告し、引き続き、参加者の皆さんと意見交換を行いました。意見交換会では21件のご意見等をいただきました。いただいたすべてのご意見等と当日の議員の回答、その後の対応状況等については、市議会のホームページからご覧いただけます。ここでは、いただいたご意見の一部を掲載します。



市の補助事業について、利用する地域の自治会や老人クラブのかたが高齢になり、手続きが難しい。

妙高高原地区に住んでいたい。70、80代のかたからも妙高高原がいいと聞かすが、除雪に困り、引っ越しされるかたもいる。

新図書館等複合施設を作る必要性がわからない。ほかにお金をかけるところがあるのではないか。

**問** 妙高高原駅のホームについて、階段の昇り降りは高齢者や大きな荷物を持ったインバウンドなど観光客のかたは大変である。お客様の声を届けるべく、関係各所をお願いに行っているが、進展はない。しかし、「妙高はいいところで、ぜひ観光にお越しください」というが、矛盾している。それでもまだ、お客様に来てくださいと言える場所か、議論してもらいたい。

**答** 一般質問で貨物、引き込み線を下り線の発着とし、1番線を上り線としてはどうかと提案したが、国の認可が難しく、路線の変更には相当なお金がかかるとのことです。解決していない。

## 議会閉会中に各常任委員会で調査しました。

(10月開催 主な質疑)

### 【総務委員会】

○地域のこし協力隊活動推進事業について

**問** 地域のこし協力隊員が定着しない理由をどのように考えているか。

**地域共生課長** 地域の問題として、受入地域が何を指していたのかが明確になっていなかったこと、「協力隊だからやって当たり前」「何でもやってくれる」と勘違いされたことである。また、隊員の問題として、考えていた活動が思ったようにできなかったこと、地域が求める活動に因應することができなかったこと、地域との信頼関係が築けなかったことが要因として考えられる。

**問** 地域のこし協力隊員の定着に向けた取り組みはどのように考えているか。

**地域共生課長** 地域と隊員のミスマッチによる途中退任を防ぐため、隊員と地域の間に市も加わりながら、月に1回話し合いの場を設けて、活動

チン接種を実施した結果はどのようなか。

**健康保険課長** 集団接種終了後（10月10日現在）の接種状況は、12歳から64歳で86・6%

、65歳以上で95・6%、全体で90・3%となっている。50歳代以上は90%を超えた。

○地域医療確保及び医師確保について

**問** 市内病院と診療所の実態はどのようなか。

**健康保険課長** けいなん総合病院と妙高病院で平成30年末に常勤医師15人が現在12人と減っているが、その分を非常勤医師で対応している。市内診療所は、平成30年末に10箇所が、現在は7箇所、今後1箇所増える状況である。医師確保に向けて、けいなん総合病院では寄附講座を活用し、医師確保を図っている。

**問** 図書館等複合施設整備の現状と共用に向けた準備、利用者のための周辺整備について

**問** 新図書館の機能について電子図書やICT化への考え方はどのようなか。

**生涯学習課長** 電子図書を導

入する予定で検討している。利用者が自己のパソコンやタブレット、スマホなどで手続を行い、電子書籍を借りて読むことができ、図書館側にとっても、その分の蔵書スペースが不要になる、貸出し、返却、督促、消毒などの業務が不要になるなど、双方にとってメリットがある。

### 【産業経済委員会】

○地域経済活性化支援事業の市内消費喚起の支援について

**問** 飯山市では、飲食店は、自分の店のプレミアム商品券を自分の店で使ってもらう取り組みをしている。市の考えとして、単にプレミアム商品券を発行すればいいのか。

**観光商工課長** 今までは家計の支援と事業者支援と両方をトータルに考えてきた。平等という考え方でやってきている。

○オール妙高応援商品券の販売支援について

**問** 換金率もよく、いい取り組みだが、使い道が飲食関係に偏ってしまい、それも市外

資本の大手スーパー等で利用されることが非常に多い。どういう考えで商品券を販売しているのか。

**観光商工課長** 地域経済の活性化にという考え方で、オール妙高応援商品券の販売時期を設定した。通常の商品券事業は、お盆や年末年始など、消費がかさむ時期に行うという考え方がベースだと思っている。

○産業活性化資金融資事業について

**問** 申請が複雑化しているようだが実態はどうか。

**観光商工課長** 金融機関が窓口となり、金融機関との協力で融資をしている。審査について、金融機関や信用保証協会に対して、できるだけ早くしてほしいと要請をしている。

○プレミアム付商品券事業について

**問** 特定の業種にしか使えないような考え方もあると思うが、いかがか。

**観光商工課長** 行政から飲食店だけ、旅館業だけをとという形は難しいという認識でいる。

# 常任委員会で 議案をじっくり審査

↑付託案件の主な質疑↓

## 【総務委員会】

■議案第72号 妙高市消防団員の定員、任免、給与、勤務等に関する条例の一部を改正する条例議定

問 団員報酬を引き上げた根拠はどのようか。

総務課長 国の交付税の算定

における基準単価において、妙高市の場合は、分団長以上は基準を上回る金額が設定されているが、副分団長以下の4階級については、下回っているために改正したいものである。副分団長は500円、部長は2000円上げること、で国の基準と同額となる。班長と団員については、国の基準より乖離が大きいため、差をすべて埋めてしまうと財政的な負担が大きいことから、班長は3000円、団員は4000円上げるものであるが、まだ差はある状況である。

■議案第79号 妙高市過疎地域持続的発展計画の策定について

問 立地適正化計画を進めて、コンパクトシティを目指している中で、過疎地域持続的発展計画で、今の居住地に住み続けることは、対応が異なるかどのようか。

企画政策課長 立地適正化計画

における妙高高原地域や妙高地域のあり方は、駅や妙高支所、妙高高原支所など人口が集中している地域を中心とした町の振興であった。過疎地域持続的発展計画は過疎化が進む地域において、今後人口が減っても、持続可能なまちづくりのための振興方策の計画である。それぞれの計画は目的に沿って策定しており、矛盾等は特段ないと考えている。

問 今後人口が減る中で、国は民間のタクシーの利便性を取り込み、運賃の一部補助を

するよう検討しているようだが、妙高市も取り組んではどうか。

企画政策課長 シェア型デマンド交通のことにあたる。タクシーを想定し、令和4年春以降、実証実験を行いたいと考えている。

■議案第90号 令和3年度新潟県妙高市一般会計補正予算(第10号)

問 職員人件費関係

普通退職者が5名とのことだが、年齢層、退職理由等はどうか。

総務課長 退職理由は、転職、婚姻である。年齢層は、20代から40代のかたがいる。

問 地域コミュニティ施設管理事業

自走式草刈機や木材粉砕機などの貸出基準や管理等についての詳細はどのようか。

地域共生課長 各地域で使用できる共通備品として整備するものである。宝くじの助成を活用した備品については、妙高市地域づくり協議会で所

有する備品となっている。借りることができるかたは地域づくり協議会の加盟団体や地域のコミュニティ団体である。そのほか市民活動団体や小中学校、高校でも使用ができるルールとしている。備品の配置場所は、勤労者研修センター、妙高高原メッセ、妙高ふれあいパークの市内3カ所となっている。貸し出しについては、事前の予約、貸し出しの申請が必要で、それぞれの配置場所です手続きを行うものである。

## 【厚生文教委員会】

■議案第74号 妙高市国民健康保険条例の一部を改正する条例議定

問 標準的な出産費用はどの程度か。

健康保険課長 全国の平均的な出産費用は、出産育児一時金の対象とならないものを除外して、約46万円である。妙高市の国保対象者の令和3年度実績では、45万円から46万円が平均である。

■議案第80号 指定管理者の指定について(障がい者就労支援施設パン工房)

問 利用者の賃金について、どのくらいの収入を得ているのか。

福祉介護課長 令和2年度の月額平均工賃は、1万1801円である。実際に携わった人数で割り返した額となる。

■議案第84号 指定管理者の指定について(新井運動公園ほか関係施設)

問 複数の施設の指定管理を同一の事業者へ委託する場合、指定管理料があり黒字になっている場合と、指定管理料なしで赤字になった場合の処理の仕方はどのようになっているのか。

生涯学習課長 赤字になった場合については、他の施設の収益で賄っている。契約については、すべての施設をトータルして契約している。

■議案第86号 指定管理者の指定について(妙高ふれあいパーク体育館ほか関係施設)

【産業経済委員会】

問 妙高ふれあいパーク体育館の1階に土間運動場があるが、ほとんど利用されていない。どのように考えているか。

生涯学習課長 指定管理者から、床を張ってほしいとの要望がある。今後、意見交換をしながら、検討していきたい。

議案第90号 令和3年度新潟県妙高市一般会計補正予算(第10号)

障がい福祉サービス事業所等移転事業

問 いきいきプラザ内で営業しているクリーニングは、移転先でも営業を行うのか。

福祉介護課長 旧スーパーサインライズの3分の1をニッカイ米山が使用しており、残りの3分の2を社会福祉協議会の事務所とクリーニングで使用する計画で、営業を行う予定である。

○新型コロナウイルス感染症対応

問 ワクチン接種会場について、寒い時期での対応はどのようなか。

健康保険課長 集団接種については、2月中下旬からスタ

ートする予定としている。寒い冬の降雪期ということで前回と違うが、温かい暖房設備の配慮をしたい。接種者数については、前回は医師1人当たり15分間で、15人を診察するなど人数調整をしていたが、今回はなかなか厳しいと思っており、割り付け人数も配慮したいと考えている。衣服の着脱に時間がかかるので、接種ブースのスペース、介助の人数などを検討課題としている。

○病児保育室運営事業

問 病児保育室の利用者が増えたことに対し、市の見解はどのようなか。

子育て教育課長 令和2年度は105人の利用があり、今年度は10月末で210人であり、半年で昨年の倍の利用者がある。けいなん総合病院に移動し、利用者の認知が高まってきていると感じている。保護者の就労支援のためのセーフティネットであり、1回利用された方はリピーターにもなり、今後も増加傾向になると考えている。

議案第98号 財産の処分について

問 市有地周辺の私有地については、異論や反対はなく、締結されたか。

観光商工課長 私有地は、農地であり、農地転用の手続きなどが必要になり、締結は手続きが済んでからである。

議案第89号 指定管理者の指定について(妙高高原観光案内所)

問 妙高高原観光案内所にDMOの事務所が入っているため、当初の目的と違っているが、どう考えているのか。

観光商工課長 DMOの事務所の候補地については、議会でも指摘があり、それら含めて検討していかなければいけないと思っている。

議案第90号 令和3年度新潟県妙高市一般会計補正予算(第10号)

○妙高高原ビジターセンター管理運営事業

問 ビジターセンター館内の

誘導表示等設置委託と備品について、財源は環境省なのか市なのか。

環境生活課長 施設整備にかかる役割分担は管理運営協定を締結しており、環境省の役割は、施設の整備・改修、大規模修繕、被害処理等に必要経費、施設新設時に設置された備品、机・椅子・ソファ1・本棚等にかかる経費となっている。市の役割としては、小規模修繕、消耗品等の運営に必要な経費となっている。

館内の誘導表示は運営に係る部分として市で設置するものである。

○道路管理工事費

問 市道の区画線補修工事について、全体でどれくらいの線を引くのか。

建設課長 新井・妙高高原・妙高の3地域にわけて発注を考えている。新井地域は12キロ、妙高高原地域は8キロ、妙高地域は6キロ、全体で26キロを予定している。

議案第95号 令和3年度新潟県妙高市水道事業会計補正予算(第2号)

問 時間外勤務手当が多くなっているが、24時間体制で監視している関係か。

ガス上下水道局長 24時間体制ではないが、特に水道については、漏水事故が頻繁に起こり、深夜に工事を行うため、時間外勤務が多くなってしまう状況である。

議案第96号 令和3年度新潟県妙高市公共下水道事業会計補正予算(第2号)

問 ガス上下水道における市内のライフラインの重要な構造物に関して、最新の耐震基準で行っており、他に補強等はないか。

ガス上下水道局長 今回の池の浄化センター以外の浄化センター施設については、最新の耐震基準に適合しているかわからないため、今後耐震診断を行い、それを踏まえた改築更新を進めていく考えである。

閉会中の所管事務調査について

常任委員会にて議案をじっくり審査

ここが聞きたい！一般質問

教えて？妙高市議会議員のこと

# 市政のここが聞きたい!

# 一般質問

議員が市の将来や方針、施策等について質問をすることです。  
12月6日、7日に議員15人による一般質問が行われました。

※見出し、質問部分は質問者本人が執筆したものを編集しました。



## ヤングケアラーの実態調査と認識について 天野京子 議員



### 地域のこし協力隊への対応について

**問** 同じ地域に複数人を任用することで複合的な活動が期待できる。市の考えはどうか。

**市長** 過去に2人配置したこともある。地域が求める役割を確認し、適正な配置を行っていく。

**問** 地域のサポート体制を1年毎の見直し更新型にしてはどうか。

**市長** 活動内容などに応じてサポート体制の見直しを行っていく。

**問** 退任する地域のこし協力隊に特化した支援メニューが必要ではないか。

**市長** 起業支援や住居取得等の補助金があり、退任後のなりわいづくりや生活拠点の整備に向けた支援を行っている。

### ドライブレコーダーの普及について

**問** 若年層と高齢者に対象を絞ってドライブレコーダーの補助制度を設けてはどうか。

**市長** ドライブレコーダーの普及は一定程度進んでいるので、購入費等の助成は考えていない。

### ヤングケアラーの実態認識について

**問** ヤングケアラーの認知について、教育関係者や地域はどのように理解を深めているのか。

**教育長** 内容が十分に理解されているとは言えないことから、まずは教職員が理解を深め、その上で子どもたちに指導していくことが重要である。

**問** 市で実態把握を行う考えは。

**教育長** 市として実態把握は必要であると認識している。個々の家庭に踏み込んだナイーブな問題であることから、実態把握の方法について慎重に検討している。

### 子どもの芸術鑑賞の重要性について

**問** 学校での芸術鑑賞は貴重な時間となる。市の認識は。

**教育長** 子どもの情操教育において、本物の芸術を鑑賞することは意義があると認識している。出前体験教室や芸術アウトリーチ事業を活用して、学校を会場とした芸術鑑賞の取り組みを支援していきたい。



# 住む・食む・食べる

太田 紀己代 議員



## シニア向け住宅について

現時点では誘致などは考えていない。

**問** 妙高市に住み続けるため、住まい支援についての考えはどうか。

**市長** 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、自宅での生活を基本に住宅改修や各種在宅でのサービス提供を行っている。その上で冬期間など自宅での生活が困難な方については、身近な施設への入居支援などの取り組みを行っている。

**問** 遊休温泉施設の利用やシニア向け住宅の改装工事、温泉療法が利用できるケアハウスの立ち上げ支援について考えはどうか。

**市長** 第8期介護保険事業計画では、遊休温泉施設の活用やケアハウスなどの施設整備を見込んでいないことから、計画期間内での実施予定はない。

**問** 広域利用可能なシニア向け住宅を誘致する考えはどうか。

**市長** シニア向け分譲マンションについては、利用者の高額な費用負担など、この地域での需要が見込めるか、事業者の採算性が確保されるかなど多くの課題があり、

## 健全な食生活と食育について

**問** 子ども食堂と人々の食生活を考える会の開催についての考えはどうか。

**市長** 市では、第3次食育推進計画に基づき、対象者やライフステージに応じて食生活の改善、地産地消の推進、食文化の継承など妙高市の特色を生かした各種取り組みを展開しているところである。

**問** 地域行事の際に、子どもと郷土料理を考える会を開催してはどうか。また、市の食材を使った郷土料理作りや立食パーティーを開催してはどうか。

**市長** 子どもを対象とした食育については、生涯にわたる健康づくりの基礎となることから、これまでの園や学校での活動に加え、地域における取り組みについても検討していく。

## 自治体の最高規範「自治基本条例」について

**問** 「市民参加の機会を保障し、市民の意思を行政に反映すること

を原則とする」と定めた、自治基本条例を周知すべきではないか。

**市長** 市政の意思決定の過程において市民が広く参加できる機会の確保に努めているほか、市民との協働による自治を推進してきた。今後も自主自立の自治体経営に向け、条例の理念浸透を図りながら機会を捉えて周知に努めていく。

**問** 新たに委嘱された広報協力員は「市民による、市民のための市報作り」と語っている。市報での対応はどうか。

**総務課長** 広報協力員から市報の編集や特集内容について意見をもらっている。自治基本条例の周知等を行う場合は、協力員からも意見をもらい、内容を考えたい。

**問** 福祉、教育、環境、文化・芸術、まちづくりなど「市民提案型パートナーシップ事業」を導入してはどうか。

**市長** まちづくりの指針となる総



# まちづくりの主役、妙高市民の位置付けは？

村越 洋一 議員



合計画の策定において、様々な分野の市民から審議委員として参画いただくほか、市民への意識調査や説明会、パブリックコメント等を通じ、意見や提案を施策に反映している。各分野の個別計画も同様であり、引き続き市民との協働によるまちづくりを進めていく。

## デジタルの危険に対する市の対応は

**問** 市職員が職務上知り得た個人情報への保護は、どのように管理しているか。

**市長** 規程を定め、業務目的以外の外部持ち出し禁止をはじめ、情報システムへのアクセス制御、パスワードの管理、不正アクセス対策など、情報セキュリティの確保に努めており、職員に対して定期的にセキュリティ研修を行い、意識啓発強化に努めている。

**問** デジタル機器を扱う自己責任をどのように説明しているか。

**市長** 高齢者等の被害を防止するため、デジタル技術の危険性やセキュリティ対策について、国や県と連携し周知していきたい。

※市民提案型パートナーシップ事業：地域の課題解決に向けて、行政単独では解決できない、または市民だけでは解決できない場合に、お互いの不足を補い合い、協力して課題解決に向けた取り組みをする事業。

閉会中の所管事務調査について

常任委員会にて議案をじっくり審査

ここが聞きたい！一般質問

教えて？妙高市議会議員のこと



渡部 道宏 議員

## 米価下落への次年度 生産の対応について



### 次年度の米価下落に対する対策は

**問** 令和3年産米の価格が大きく下落しており、稲作農業の継続がますます困難な状況となっている。兼業農家を含め、国の収入減少

影響緩和交付金(ナラシ対策)や全国農業共済組合連合会の収入保険など、農家の経営努力だけでは対応できない場合に備えて、収入を安定化できる制度の普及促進を丁寧に行うべきではないか。

**市長** 令和4年産米については、今後、妙高市農業再生協議会において作付目標面積などを決定していく。主食用米から需要が見込める非主食用米への作付誘導を行い、国・県の交付金を活用し、農家所得の確保と安定を図っていきたいと考えている。米価下落等への対応については、現在でも農業者に対し、収入保険等の減収補填制度のPRを行っており、自然災害等にも対応できることから、今後とも関係機関とともに積極的な加入促進を図っていきたいと考えている。

### 図書館建設の市民理解度の浸透について

**問** 施設の設置位置や機能について、市民にどの程度理解されていると考えているか。より一層理解を促進するための方策はどのようなものを考えているか。

**教育長** 施設整備は、現在基本設計を行い、計画案は、地元町内会や商工会へ説明を行うとともに、現図書館の司書や関係団体、市民との意見交換を通じて、市民の理解や関心が高まっていると考えている。今後も中・高校生や現図書館などの利用者から意見を聞いたリ、ホームページによる周知を行い、市民の理解促進に努めていく。

**問** 複合施設としての機能を持つ図書館の建設により、市街地の活性化につながるのか。実施設計前に、図書館を利用する学生に配慮し、設置位置を駅もしくは駅周辺に考え直すことはできないか。

**市長** 市民の皆さんやいろいろな方の意見を総合的にいただきながら進めている。活性化については、できた施設に魂を入れていくかが重要だと考えている。



宮澤 一照 議員

## 近隣市及び上越圏域 との連携について



### 上越市との連携強化について

**問** 上越市は若い新市長が誕生し、今後どのように連携していくかが重要になる。同じ生活圈での行政サービスの水準確保や環境問題・自然災害対策など1自治体の範囲では収まらない課題が沢山ある。経験の長い市長として圏域連携を将来的にどのように考えていくか。

**市長** 近隣市及び上越圏域との連携は、コロナ禍で変わり行く社会や価値感の変化に対応し、選ばれた地域を指していくため、関係市町村と十分な協議を行い、連携を強化する中で圏域としての付加価値を高めたいと考えている。

### オンライン診療(遠隔医療)の 取り組みは

**問** 在宅生活を長く続けるためホームドクターとなる医師の往診は必要不可欠である。医師不足、医師の負担を軽減するため国が進めている遠隔医療の体制の考えは。

**市長** オンライン診療は、医師不足の解消や患者の利便性向上などに

に期待できる反面、通信環境の整備、医療の質や患者の安全確保、外来診療と比べて低い診療報酬など課題がある。市内の医師からは、患者の状態を直接確認し、診断することを基本としており、問診や自覚症状に頼るオンライン診療には抵抗があるとの意見があり、現時点では当市における普及、定着は時間を要するものと考えている。

### 医療と介護のデジタル連携は

**問** 今後、医療と介護の連携もオンラインが進むと考える。当市としてどのように捉えているか。

**市長** 医療、介護の連携は、平成29年度から上越市と合同で在宅医療・介護連携推進協議会を立ち上げ、入退院時の支援や専門職同士との連携、急変時の対応などの取り組みを推進している。在宅介護を支えるため、医療、介護の専門職が一つのチームとして連携して支援することが重要であり、今後とも切れ目のない支援や顔の見える関係づくりなど、連携体制の強化を図っていききたい。





植木 茂 議員

# ランドセル症候群と教育プログラム



## ランドセル症候群と置き勉について

**問** 教科書などの入ったランドセルの重さが、子どもの発育や健康に影響を及ぼす可能性があるとして問題視されており、改善策としてランドセルの重さの軽減を図るうえで、置き勉が有効であると言われている。当市における置き勉の現状認識とランドセル症候群に対する解決策の考えはどのようなか。

現在各学校で行っている置き勉の取り組みを継続することで対応したいと考えている。

## 5歳児の教育プログラム導入について

**教育長** 学校に教科書等を置いて帰る「置き勉」は、教育委員会から指示等は出していないが、各学校では教科書等学習道具の持ち帰り時の児童・生徒への負担や身につけさせたい学習習慣とのバランスを考えた上で持ち帰る教科を指定するなど、学校に置いていくものを持ち帰るものを児童や保護者に周知し、体格や体力など児童の状態で合わせて対応している。

**問** 学習態度や学力のばらつきによる小一プロブレムの解消を図るため、幼稚園や保育園、認定こども園において学習の基盤となる力を養い、小学校入学後の小学校教育への円滑な接続を目指す幼児小の架け橋プログラムの開発推進を図り、教育プログラムの導入の方針について、どのように認識しているか。

**教育長** 文部科学省の教育プログラムは、幼稚園教育要領を踏まえながらことばの力、情報を活用する力、探求心などを全ての5歳児に保障することで、幼児期から小学校への移行をスムーズに行うためのものと認識している。当市は、これまでも園と小学校の連携を重視してきたが、このプログラムはまだ未確定な部分が多く、今後の国の動向を注視していきたいと考えている。



岩崎 芳昭 議員

# 身近な自然環境の里山保全の推進は



## 今日の里山の現状認識は

## 地元農産物のブランド化の取り組みは

**問** 里地・里山の機能回復と、生物多様性保全の取り組みの活性化を図る必要があるが、現状認識はどのようなか。

**問** 安全・安心で新鮮な農産物のブランド化に向けた農業振興策の現状と課題、具体的な戦略はどのようなか。

**市長** 当市の里山林は、森林所有者や担い手の高齢化等により、全国的な傾向と同様に荒廃が進んでいるものと認識している。

**市長** 当市の園芸は、少量多品目の生産が主で、農業者の高齢化などから作付面積の拡大に至っていない。妙高市農業振興協議会では、県やJA等とともにカボチャやネギ、ピーマンの園芸作物の実証栽培を行っており、当市に合った作物を選定し、まずは産地化を目指す取り組みを行っていきたい。

**市長** 市では、里山を含めた森林整備の促進を図るため、国・県の補助金に市費の上乗せや水上地区では森林経営管理制度による私有人工林の整備を進めているほか、里山を保全する活動団体等へのサポートもしている。今後も各種補助金等を活用する中で引き続き里山林の整備を進めていく。

**市長** 一部直売所では基準に沿った農産物に認証シールを貼付するなどブランド化に向けて取り組んでいる。今後もこの取り組みを進めるとともに、健康を意識した農産物等のPRについても検討していきたい。

**問** 地球温暖化対策の観点からも、里山の役割が改めて見直されている。里山の保全推進に向けた今後の具体的な展開はどのようなか。

**問** 健康意識が高まる今日、農産物の機能性に着目したブランド化に取り組むべきでないか。

## 具体的な里山整備の展開は

## 機能性に着目したブランド化を

**問** 地球温暖化対策の観点からも、里山の役割が改めて見直されている。里山の保全推進に向けた今後の具体的な展開はどのようなか。

**問** 健康意識が高まる今日、農産物の機能性に着目したブランド化に取り組むべきでないか。

**市長** 市では、里山を含めた森林整備の促進を図るため、国・県の補助金に市費の上乗せや水上地区では森林経営管理制度による私有人工林の整備を進めているほか、里山を保全する活動団体等へのサポートもしている。今後も各種補助金等を活用する中で引き続き里山林の整備を進めていく。

**市長** 一部直売所では基準に沿った農産物に認証シールを貼付するなどブランド化に向けて取り組んでいる。今後もこの取り組みを進めるとともに、健康を意識した農産物等のPRについても検討していきたい。

ランドセル症候群特有の筋肉痛、肩凝り、腰痛や通学が憂鬱になるといった症状による欠席報告や保護者等からの指摘は教育委員会には入っていない。ランドセル症候群にならないための予防策として、

現在各学校で行っている置き勉の取り組みを継続することで対応したいと考えている。

里山林の整備を進めていく。

健康意識が高まる今日、農産物の機能性に着目したブランド化に取り組むべきでないか。



# 公共施設等の 適正管理基金について

堀川 義徳 議員



## ビジターセンターの入館料について

**問** 令和4年4月にグラランドオーブンする妙高高原ビジターセンターは、観光の目的地として十分価値はあると考える。しかし維持管理には多額の費用が見込まれる。今後、必要とされる維持管理費を入館料や協力金として利用者から徴収していく必要があると思うが、その考えはあるか。

**市長** ビジターセンターは、建物や展示物を含む備品の大規模改修は環境省が実施し、維持管理費は市が負担することが協定で定められている。施設の維持管理や魅力アップ、いもり池周辺の自然環境の保全など、国立公園の保護と利用を持続的に行うためにはその資金を確保していただくことが重要なことから、趣旨に賛同いただける来訪者や企業等に対し、協力を求める仕組みづくりを考えている。



妙高高原ビジターセンター

## 公共施設等の適正管理基金について

**問** 市で公共施設有効利用・再配置計画や公共施設等総合管理計画が策定され、この計画を執行する財源として令和元年に公共施設等の適正管理基金が設置された。人口減少や年齢構成は各地域において大きな差が生じているため、公共施設の利用形態も当初計画とは変化していると思われる。公共施設等の適正管理基金を有効利用し、廃止や利用見直しなど具体的なタイムスケジュールを決め、将来の負担を少しでも軽減していく必要があると思われるが考えはあるか。

**市長** 公共施設等は、個別施設ごとに定めた方針の下、地元との協議をはじめ、施設の利用や劣化状況などを踏まえるとともに、財政計画との連動を図りながら施設の更新や大規模修繕、解体、撤去等を進めている。限られた財源の中で公共施設等適正管理基金を活用した年度間の負担の平準化なども考慮しながら、計画的な維持管理と効率的で効果的な財政運営に努めていく。



# 妙高市における いじめの防止について

宮崎 淳一 議員



## いじめの現況

**問** 当市におけるいじめの認知件数はどうか。また、その対応はどのようか。

**教育長** いじめの認知件数は、1学期末時点で小学校36件、中学校19件の計55件で、その内容は、「冷やかしか、からかい、悪口」が約45%と最も多く、「軽くたたたく、蹴る」が約21%、「物品を隠す、捨てる、壊す」が約8%である。いじめの実態把握は、年5回、各学校に照会し、早期発見や状況の把握に努め、重要度が高いと判断した案件は教育委員会が指導、助言を行い、追跡調査を指示している。重大ないじめが発生した場合は、速やかに教育委員会に報告する体制を整えている。

## ひきこもり・不登校対策

**問** 現代の子どもは休日においてもクラブ活動や習い事等があり、休息が取りにくく、心身のバランスが崩れやすいと聞く。このような観点から、子ども型の休暇制度を設けてはどうか。

**教育長** 中学校では市の部活動がイドラインに基づいて、原則、土・日のうち1日は部活動を実施していない。行事は、子どもの心身の負担を考えて無理のない方法で実施している。国の制度として子ども型休暇制度はなく、現在市でも考えていない。

## ネットいじめの対策

**問** ネットいじめのように目視が困難な事例に対して、対策はどのようか。

**教育長** 児童・生徒の人権意識の醸成を図るため、道徳等の授業で学びを深めることはもとより、事あるごとにいじめや誹謗中傷等について考える機会をつくっている。インターネットによるいじめを防止するため「妙高市インターネット等の利用に関する子ども宣言」を活用し、子どもと保護者が自ら責任を持ってインターネットモラルを考え、モラルを守る精神を育てている。また、スクールロイヤーを活用し、いじめ防止講演会を開催し、意識を高めている。



# 国立公園入域料と高谷池 渇水対策の現状について

小嶋 正彰 議員



今年の入域料と使途、今後の課題

高谷池ヒュッテ渇水の原因と対策は

**問** 国立公園内の登山道整備やライチョウ保護事業の財源として登山者に入域料を協力金として納付していただいているが、他の国立公園、大雪山、北アルプス南部でも実施が始まっており、先駆的取り組みと評価されている。今後執行体制の透明化や他地域の事例を参考に入域料を千円として対象事業を拡大充実にすべきでないか。

**市長** 入域料の額については、実証実験の際に行った利用者アンケート結果などを踏まえ、生命地域妙高環境会議の入域料検討部会において設定したものであり、額の変更については次期計画策定の際、判断したいと考えている。生命地域妙高環境会議の事業や予算については、毎年総会において合意を得た上で執行し、その実績等を報告するとともに、ホームページでも公開している。また、契約事務等も市の取り扱いに準じており、事務処理の透明性確保にも努めている。

**問** 高谷池ヒュッテ渇水調査の進捗はどうか。渇水調査に加え、高谷池湿原の植生等環境変化の学術的調査が必要ではないか。

**市長** 高谷池ヒュッテの渇水について、今シーズンは、高谷池ヒュッテ本体の運営に必要な水が不足したことはなかったが、野営場の水飲み場は、高谷池のオーバードロップした水を使用しているため、一時的に渇水になった。また、生態系の調査は、国がこれまでも数回実施しており、引き続き今後の対応について協議していく。

## 米需要拡大に向けた対策は

**問** コロナ禍で米消費減退が加速している。新市場開拓用米（輸出米）や米粉の作付が伸びているが、新たな米需要の喚起が必要ではないか。

**市長** 令和4年度産米については、需要が見込める非主食用米への転換を中心に働きかけを行っていきたいと考えている。



# 人に優しい街づくり

阿部 幸夫 議員



トキ鉄施設のバリアフリー化について

営改善や支援策の検討を進めており、最優先課題と考えている。

**問** 令和3年4月よりバリアフリー法が改正され、えちごトキめき鉄道施設で対応すべき項目はあるか。また、跨線橋のバリアフリー化を働きかけるべきと考えるが、市の考えはどうか。更に、同社の経営状況を市はどのように考えているか。

**市長** 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部改正により、駅施設の1日当たりの平均利用者が2千人以上3千人未満の施設についてもバリアフリー化が義務づけられた。当市にある駅はこの基準に該当しないため、バリアフリー化の計画はない。年配のかたや体の不自由な方、観光客にとって駅施設のバリアフリー化は必要と認識しており、引き続き、バリアフリー化に向けた要望を行っていく。経営状況については、令和2年度で約4億3千万円の赤字決算となり、内部留保資金を取り崩し、経営を維持している厳しい状況にある。現在、県・沿線市で事業存続に向けた経

## 生活を守る未来の交通形態について

**問** 市営バス、コミュニティバス、スクールバスなど様々な公共交通が維持されているが、長沢、瑞穂、関山の3地区のNPO法人が運行するコミュニティバスは各地区間を運行できない。各地区間を運行できるようにすべきと考えるが市の考えはどうか。また、コミュニティバスは土・日曜日は運行しない。子ども達の部活動や塾等の移動のためにも運行すべきと考えるがどうか。

**市長** コミュニティバスは乗り継ぎにより他地域への移動は可能である。運行ルートの新設等は、ニーズや費用対効果を検証した上で行うもので、現状では難しいと考えている。また、NPO法人3団体のうち2団体が土・日運休だが、運行開始時に各地域の利用状況や費用対効果を考慮し決定されたものであり、市も助言するが、最終的な判断は運行事業者となる。



## 学校における部活動の今後について



学校における部活動の今後について

**問** 令和5年度から休日の部活動が地域移行となるが課題はどうか

**教育長** 部活動の段階的な地域移行や、合同部活動の推進に備え、令和3年度から国や県の指定を受け、実践研究を実施している。課題は、生徒の活動機会の確保や、休日に地域のスポーツ、文化活動を円滑に実施できる仕組みの構築、中学校体育連盟との調整などが挙げられる。今後一層、総合型地域スポーツクラブ等との連携と協議を進めていく必要があると考える。

**問** 教員の長時間労働は改善されたのか。

**教育長** 令和3年10月現在で前年度と比較すると、小学校がほぼ横ばいで、平均超過勤務時間は月約40時間、中学校は減少したが、月50時間を上回っている。コロナ禍で中学校の部活動が休止となった期間に大幅に減ったことから、中学校の長時間労働は部活動の影響が大きいと考えられる。各学校では、会議や行事の精選、実施方法の工夫等で長時間労働の改善に向けて努力を継続している。

## 高齢ドライバーの事故防止対策について

**問** 高齢者に向けた指導や市民への啓発が必要と考えるがどうか。

**市長** 市では交通安全教室や講習会の開催、チラシの配布など、交通事故防止の意識啓発を行っている。今後、警察や交通安全協会と連携し、高齢運転者の身体能力や認知機能の低下への理解、安全運転サポート車への乗換検討、運転免許証の自主返納の促進などを通じて事故防止に取り組んでいく。



## 福祉灯油の支給と住宅リフォーム補助金の復活を



要援護世帯へ「福祉灯油」の支給を

**問** 灯油価格が昨年に比べ大きく上昇し、市民生活に重大な影響を与えている。要援護世帯には灯油は生命をつなぐために欠かすことのできないものである。県内では新発田市をはじめ、6市町村が灯油購入助成に取り組んでいる。当市で取り組む考えはどうか。

**市長** 原油等のエネルギー価格の高騰が市民生活にも影響を及ぼしているところであるが、当市においては地域経済の消費喚起と市民の家計支援を目的として、市民全員に地域応援ギフト券1万円分を配布することとしている。なお、今後も国・県の動向や灯油価格の変動に注意しながら、対応について検討していきたい。

## 住宅リフォーム補助金の復活を

**問** 住宅のリフォームは、SDGsの目標に示されている「住み続けられるまちづくりを」に合致しており、環境対策にも効果的である。さらに、地域経済の発展にも

寄与するものと考えことから令和元年度に終了した「妙高市住まいるリフォーム促進事業補助金」を復活させる考えはどうか。

**市長** 住まいるリフォーム促進事業は、経済対策の一環として、これまで市内経済の活性化につながってきた。しかしながら、社会情勢の変化や住まいに対するニーズの多様性などを背景に省エネルギー化や長寿命化に加え、質が高く、安全で快適な住まいづくりを推進する必要があるため、今年度から事業の見直しを行ったところである。今後も未来都市妙高の推進に向け、より一層SDGsに対する理解を深めていただき、持続可能なまちづくりの実現を図っていくため、当面は現制度による支援を継続していきたいと考えている。



## 高谷池ヒュッテ改修に伴う 自然環境への影響について



高谷池ヒュッテ改修に伴う  
自然環境への影響について

**問** 令和2年度から高谷池ヒュッテの水洗トイレで使用する水の問題について話題となり、インターネット上の署名も2万5千人に迫ろうとしている。令和3年度では、高谷池ヒュッテ渇水対策調査が事業化された。11月1日に提出された市民有志4名での水洗トイレ改良に関する要望書について、回答内容はどうか。

**市長** 先般提出された水洗トイレ改良に関する要望書に対し、現在実施している渇水対策調査の結果を踏まえ、環境負荷を軽減し、持続可能な運営となる取り組みを検討している旨、回答している。

**問** 高谷池ヒュッテ渇水対策調査について、調査期間は7月から3月となっているが、調査結果はどうか。また、水の確保にむけてはどうか。

**観光商工課長** 結果はまだ出ていないので、内容については答えられないが、専門の業者から調査してもらい、取水の問題、高谷池の保

有する水量の問題、今の浄化槽から出た水の再利用や一部の水を雨水で利用することを前提とした節水の考え方など、これらについて複合的に報告を受けることと聞いており、その結果を踏まえて検討することとしている。



高谷池ヒュッテ



## 誰のための マイナンバーカード



市民が納得のいく説明を

**問** 現在のマイナンバー制度は、社会保障・税・災害対策にのみ使用が認められているが、今後、保険証や運転免許証、預貯金口座などと一体化やひもづけを進める計画だ。市民は解らないうちに進められていると思うがどうか。

**市長** 国はマイナンバーカードを利活用した様々なサービスの提供を計画的に進めており、市も国の整備方針に基づき、適宜適切に対応していきたい。

どうなるの高谷池ヒュッテのトイレ

**問** 高谷池ヒュッテのトイレは早急な解決策、調査結果に基づいた方針提示も必要と考えるがどうか。

**市長** 本年度、渇水対策調査を実施しており、その結果を踏まえて今後のトイレ等のあり方を含め、検討することとしている。

10年になる住宅用火災警報器の点検を

**問** 高齢者宅などの住宅用火災警

報器の点検チェックの支援が必要だがその考えはどうか。

**市長** 当市の住宅用火災警報器の設置割合は約93%で、平成23年6月から全ての住宅に設置が義務づけられ、10年が経過した。住宅用火災警報器の機能が十分に発揮されるためには、動作確認が必要不可欠であり、消防署や消防団と連携の上、適切に維持管理されるよう、引き続き市報や防災行政無線等により周知していく。

補聴器購入の援助制度確立を

**問** 認知症予防における難聴対策の補聴器は、難聴の初期段階から慣らして使うものであり、早期の助成制度の確立が必要と思うが対応はどうか。

**市長** 補聴器購入助成は、令和2年12月に県市長会が県に対して要望を提出し、働きかけを行っている。難聴と認知症に関する国の研究結果が示されたことや、日本耳鼻咽喉科学会などからの要望を受けており、市の助成制度の創設について検討したいと考えている。

## 【審議された議案と審議結果】

下記議案は全員賛成可決されました。

### 【令和3年11月臨時会】

議案番号	議案名
令和3年度 補正予算 第69号	令和3年度新潟県妙高市一般会計補正予算（第9号）

### 【令和3年12月定例会】

議案番号	議案名
条例関係	第70号 妙高市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例議定について
	第71号 妙高市個人情報保護条例及び妙高市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例議定について
	第72号 妙高市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例議定について
	第73号 妙高市杉野沢財産区管理会条例の一部を改正する条例議定について
	第74号 妙高市国民健康保険条例の一部を改正する条例議定について
	第75号 妙高市立保育園条例及び妙高市立認定こども園条例の一部を改正する条例議定について
	第76号 妙高市児童館条例を廃止する条例議定について
組合関係	第77号 妙高市コミュニティスポーツセンター条例の一部を改正する条例議定について
	第78号 新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
その他	第79号 妙高市過疎地域持続的発展計画の策定について
	第98号 財産の処分について（旧姫川原コミュニティスポーツセンターグラウンド他）
指定管理者の指定	第80号 指定管理者の指定について（障がい者就労支援施設パン工房）
	第81号 指定管理者の指定について（妙高市高齢者生産活動センター）
	第82号 指定管理者の指定について（妙高市大鹿学び舎ふれあい広場）
	第83号 指定管理者の指定について（妙高市青少年学習施設）
	第84号 指定管理者の指定について（新井運動公園、妙高市総合体育館、新井ペタンクコート、水夢ランドあらい、新井テニスコート、新井総合公園、新井総合公園野球場、新井総合公園テニスコート、新井総合公園陸上競技場、新井総合公園屋外球技場、新井総合公園体育館及び新井グリーンスポーツセンター）
	第85号 指定管理者の指定について（妙高高原スポーツ公園、妙高高原スポーツ公園野球場、妙高高原スポーツ公園グラウンド、赤倉体育センター、東赤倉テニスコート、池の平スポーツ広場及び妙高市オールシーズンシャンツェ）
	第86号 指定管理者の指定について（妙高ふれあいパーク体育館、妙高ふれあいパークテニスコート、妙高ふれあいパーク野球場、妙高ふれあいパークグラウンド、妙高ふれあいパーク多目的広場、妙高ふれあいパークふれあい広場、大鹿克雪管理センター、関山コミュニティセンター、原通コミュニティセンター及び大鹿交流館）
	第87号 指定管理者の指定について（妙高市杉野沢トレーニングセンター）
	第88号 指定管理者の指定について（妙高山麓県民の森及び笹ヶ峰乙見湖休憩舎）
	第89号 指定管理者の指定について（妙高高原観光案内所）
	令和3年度 補正予算
第91号 令和3年度新潟県妙高市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	
第92号 令和3年度新潟県妙高市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
第93号 令和3年度新潟県妙高市介護保険特別会計補正予算（第2号）	
第94号 令和3年度新潟県妙高市ガス事業会計補正予算（第1号）	
第95号 令和3年度新潟県妙高市水道事業会計補正予算（第2号）	
第96号 令和3年度新潟県妙高市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	
第97号 令和3年度新潟県妙高市簡易水道事業会計補正予算（第2号）	
第99号 令和3年度新潟県妙高市一般会計補正予算（第11号）	
第100号 令和3年度新潟県妙高市一般会計補正予算（第12号）	
諮問 第2号	

# 教えて？ 妙高市議会議員のこと



妙高市議会では令和3年9月議会において「妙高市議会議員の定数及び報酬に関する特別委員会」を設置しました。

まずは、妙高市議会議員の現状を知ってもらい、皆様のご意見をお聞かせください。



特別委員会開催の様子です。

**問：市議会議員の定数は？**

**答：現在18名です！**

平成23年(今から10年前)に  
23名から18名に定数を削減しました！  
近隣の市では上越市32名(人口約19万人)  
糸魚川市18名(人口約4万人)

**問：現在の議員報酬は？**

**答：合併前の  
新井市と同じ報酬額で  
284,100円です！  
(上越市440,800円  
糸魚川市300,000円)  
自治体の規模などにより  
大きな差があります！**

**問：議員の年金や保険は？**

**答：厚生年金や社会保険  
などは無く、国民年金や  
国民健康保険が適用されます。  
また、議員年金は、  
平成23年6月1日をもって  
廃止されました！**

**問：議員の平均年齢は？**

**答：65歳です！  
(上越市61歳、糸魚川市57歳)  
妙高市は議員の  
平均年齢が高いです！**

**問：女性議員の割合は？**

**答：22%です！  
新潟県の平均が13%ですから、  
妙高市は女性議員の  
割合は高いです！**

**問：誰でも議員になれるの？**

**答：25歳以上の市民なら  
立候補できます！**



閉会中の所管事務調査について

常任委員会での議案をじっくり審査

ここが聞きたい！一般質問

教えて？妙高市議会議員のこと

# 『議場deコンサート』を開催!!

妙高市議会では、開かれた議会を目指し、議場を活用した取り組みとして、去る令和3年11月2日に、市役所5階本会議場を会場に新井小学校と新井中学校の合唱部による『議場deコンサート』を開催しました。

当日は30分間という短い時間ではありましたが、各合唱部で3曲、小・中学校合同合唱で1曲の計7曲の歌声が披露されました。



～綺麗な歌声が議場内いっぱいに響き渡りました～

参加された児童・生徒並びに保護者の皆様から議会活動の一端と議場を体感していただき、議会を身近に感じ、理解を深めていただいたと感じております。今後も開かれた議会、寄り添う議会を目指し、新たな企画を検討しておりますのでご期待ください。

広報広聴委員会の構成替えがなされ、2回目の議会だよりを市民の皆様にお届けすることが出来ました。新型コロナウイルス感染症対応で開催が延期となっておりますが、議会報告会・意見交換会も11月に開催する事ができ、参加をされた市民の皆様にご感謝申し上げます。

多くの質問・意見を伺いその内容について、議会にとりまして大変重要と捉えております。また、開かれた議会活動としまして、「議場deコンサート」も行い、市民と議会をもっと近い存在でありたいと考えております。

市民の皆様におかれましては、どうか気軽に議会の傍聴に来ていただけたら幸いです。

広報広聴副委員長  
宮崎淳一

編集後記